

平成30年5月12日(土)第31回東淀川区の在宅医療連携を考える会

・東淀川区の在宅医療連携を考える会も31回を迎えました。毎回80人前後の医療関係者、介護関係者、行政等も参加し熱気あふれる会になっています。

今回はACPをテーマに、講演を淀川キリスト教病院 ACP普及啓発チーム池永昌之先生の「住民の価値観や希望を反映した医療・介護・福祉を行うために、これから私たちにはできることは？」をテーマに講演していただきました。

その後、こぶしネットの企画・学術グループのメンバーによるロールプレイがありました。

吉本新喜劇のような笑いのある迫真の演技でした。

講演・ロールプレイのあとグループワーク「ACPについて考えてみよう！」をテーマに、それぞれの職種が、高齢者とかかわりの中で、知らず知らずに聞いていることや話していることに、本人の思いが隠れている・表現されていることってないかを意見交換しました。

